

# 令和3年度 予算のあらまし



## 目次

1. 予算規模	1
2. 予算の特徴	
3. 一般会計	2
4. 特別会計	3
5. 一般会計歳入・歳出構成比	
6. 予算額等の推移	5
7. 令和3年度の主要事業	7
8. 太田市の家計簿	
～太田市を一般家庭に例えたら～	9
～他の“まち”との比較～	10

「太田市 令和3年度予算概要」について  
動画配信を行いますので、ぜひご覧ください。



# 令和3年度太田市予算

## 一般会計当初予算

842億円（前年度比0.5%減）

総額1,326億3,775万6千円

## 1. 予算規模

（単位：千円・%）

会計区分	R3当初予算額	R2当初予算額	比較
一般会計	84,200,000	84,660,000	▲ 0.5
特別会計	41,095,362	41,059,147	0.1
下水道事業等会計	7,342,394	7,335,436	0.1
合計	132,637,756	133,054,583	▲ 0.3

## 2. 予算の特徴

### （1）過去3番目に大きな予算

一般会計の予算規模は842億円で、過去3番目に大きな予算となりました。主に高齢者、障がい者、子どもを支援するための社会保障費が大きな割合を占めています。

### （2）子どもと高齢者にやさしい予算

子育て支援として、引き続き太田市独自の施策である第3子以降子育て支援事業及びこどもプラッツ推進事業に取り組むほか、第2子子育て支援事業では給食費助成を半額から全額に、医療費助成事業では対象を高校生世代に拡充し、実施します。

また、高齢者支援として、新たにごみ出し困難高齢者支援事業を実施するほか、引き続き買い物・通院送迎の支援を実施します。

### （3）第5次実施計画関連事業の着実な取り組み

（仮称）太田西複合拠点公共施設建設事業、放課後児童クラブ室建設事業、市街地再開発事業、市立太田高校施設整備事業、（仮称）市民体育館建設事業などのハード事業に取り組みます。また、ソフト事業として第3子以降子育て支援事業、こどもプラッツ推進事業、救急医療対策事業などを引き続き実施するほか、東京オリンピック・パラリンピックに向けて国際スポーツキャンプ誘致事業を実施します。

### （4）市民満足度の向上

満足度の低い道路網の整備については、道路新設改良経費を拡充するなど、引き続き重点的に取り組むほか、要望の多い住宅リフォーム支援事業についても引き続き実施します。

### （5）財源の確保

法人市民税の大幅な減により市税全体では340.5億円（前年度比8.9%減）となりますが、地方特例交付金や地方交付税などの増を見込むとともに、国県支出金や財政調整基金の活用、世代間の公平な負担のために市債を発行し、必要な財源の確保を図ります。

# 3. 一般会計

## 【歳入】

(単位：千円・%)

(単位：千円)

区 分	R3当初予算額	R2当初予算額	比 較	(参考) R2決算見込 (3月補正後)
市税	34,053,455	37,369,511	▲ 8.9	37,819,170
地方譲与税	758,546	758,546	0.0	758,546
地方消費税交付金	5,420,000	5,300,000	2.3	5,300,000
地方交付税	1,510,000	1,100,000	37.3	1,401,816
国庫支出金	13,017,494	13,395,084	▲ 2.8	40,411,588
県支出金	6,936,102	6,964,038	▲ 0.4	7,010,261
繰入金	5,025,504	4,975,504	1.0	5,210,334
（うち財政調整基金）	(4,500,000)	(4,400,000)	(2.3)	(4,628,178)
（うち減債基金ほか）	(525,504)	(575,504)	(▲ 8.7)	(582,156)
市債	7,003,000	6,641,300	5.4	6,928,931
（うち通常債）	(4,663,000)	(4,581,300)	(1.8)	(4,838,000)
（うち臨時財政対策債）	(2,340,000)	(2,060,000)	(13.6)	(2,090,931)
その他	10,475,899	8,156,017	28.4	11,742,097
合 計	84,200,000	84,660,000	▲ 0.5	116,582,743

●通常債とは、建設事業に充てる地方債を意味します。

●その他の内訳は、諸収入4,658,735千円、地方特例交付金1,690,000千円、使用料及び手数料1,546,416千円、分担金及び負担金1,002,945千円などです。

## 【歳出】

(単位：千円・%)

(単位：千円)

区 分	R3当初予算額	R2当初予算額	比 較	(参考) R2決算見込 (3月補正後)
議会費	452,645	465,285	▲ 2.7	455,607
総務費	8,639,419	8,318,181	3.9	31,446,495
民生費	34,655,850	34,310,908	1.0	35,743,468
衛生費	5,748,266	7,073,032	▲ 18.7	8,356,964
労働費	113,340	119,917	▲ 5.5	126,624
農林水産業費	1,482,635	1,368,410	8.3	1,393,202
商工費	3,709,475	2,329,247	59.3	6,512,705
土木費	7,000,855	7,349,830	▲ 4.7	7,364,313
消防費	4,030,240	3,689,139	9.2	3,680,345
教育費	10,306,358	11,582,586	▲ 11.0	13,477,610
公債費	7,958,916	7,951,464	0.1	7,923,409
（うち通常債元金）	(5,157,769)	(5,138,081)	(0.4)	(5,137,065)
（うち臨時財政対策債元金）	(2,383,829)	(2,369,081)	(0.6)	(2,372,042)
（うち利子ほか）	(417,318)	(444,302)	(▲ 6.1)	(414,302)
その他	102,001	102,001	0.0	102,001
合 計	84,200,000	84,660,000	▲ 0.5	116,582,743

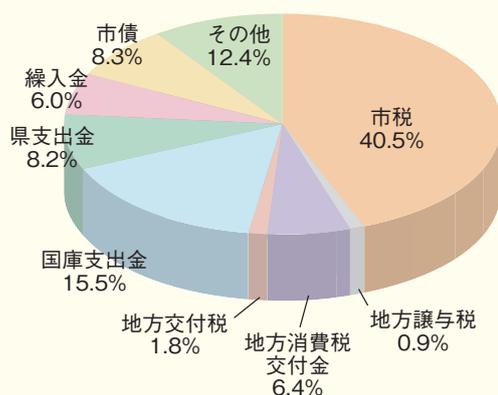
## 4. 特別会計

(単位：千円・%)

会計区分	R3当初予算額	R2当初予算額	比較
国民健康保険	20,537,845	21,037,518	▲ 2.4
住宅新築資金等貸付	7,587	7,794	▲ 2.7
後期高齢者医療	2,593,484	2,482,135	4.5
八王子山墓園	42,545	33,448	27.2
介護保険	17,651,657	17,230,247	2.4
太陽光発電事業	262,244	268,005	▲ 2.1
合計	41,095,362	41,059,147	0.1

## 5. 一般会計歳入・歳出構成比

### ① 歳入



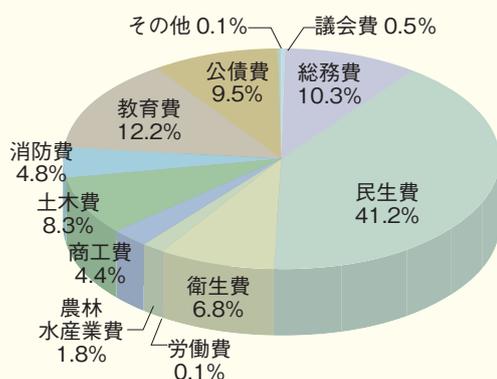
収入の約40%が、市民のみなさんや会社が納める「市税」でまかなわれているね。市税が減っている分、国からの交付金である「地方特例交付金(※1)」や「地方交付税」が増えているよ。ほかにも、国庫支出金や県支出金を活用したり、市債を発行しているね。



	R3	R2	比較 (千円)
市税	34,053,455	37,369,511	▲ 3,316,056
地方譲与税	758,546	758,546	0
地方消費税交付金	5,420,000	5,300,000	120,000
地方交付税	1,510,000	1,100,000	410,000
国庫支出金	13,017,494	13,395,084	▲ 377,590
県支出金	6,936,102	6,964,038	▲ 27,936
繰入金	5,025,504	4,975,504	50,000
市債	7,003,000	6,641,300	361,700
その他(※1)	10,475,899	8,156,017	2,319,882
合計	84,200,000	84,660,000	▲ 460,000

(※1) R3の内訳：諸収入4,658,735千円、地方特例交付金1,690,000千円、使用料及び手数料1,546,416千円、分担金及び負担金1,002,945千円など

## ② 歳出 [目的別]



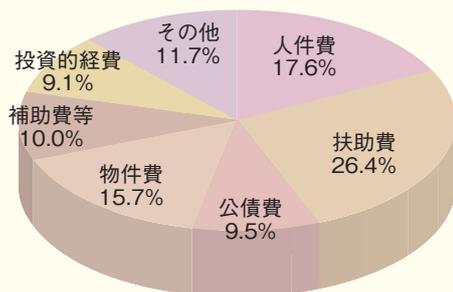
衛生費と教育費が減っているのは、クリーンプラザと義務教育学校が完成したからだよ。商工費が増えているのは、新型コロナウイルス緊急対策資金のための貸付金を計上したからだよ。



	R3	R2	比較 (千円)
議会費	452,645	465,285	▲ 12,640
総務費	8,639,419	8,318,181	321,238
民生費	34,655,850	34,310,908	344,942
衛生費	5,748,266	7,073,032	▲ 1,324,766
労働費	113,340	119,917	▲ 6,577
農林水産業費	1,482,635	1,368,410	114,225
商工費	3,709,475	2,329,247	1,380,228
土木費	7,000,855	7,349,830	▲ 348,975
消防費	4,030,240	3,689,139	341,101
教育費	10,306,358	11,582,586	▲ 1,276,228
公債費	7,958,916	7,951,464	7,452
その他(※2)	102,001	102,001	0
合計	84,200,000	84,660,000	▲ 460,000

(※2) R3の内訳：諸支出金2,000千円、予備費100,000千円など

## ③ 歳出 [性質別]



扶助費が増えているのは、主に高齢者、障がい者、子どもへの社会保障施策に係る経費が増えているからだよ。その他の経費が増えているのは、目的別の商工費が増えているのと同じ理由だよ。

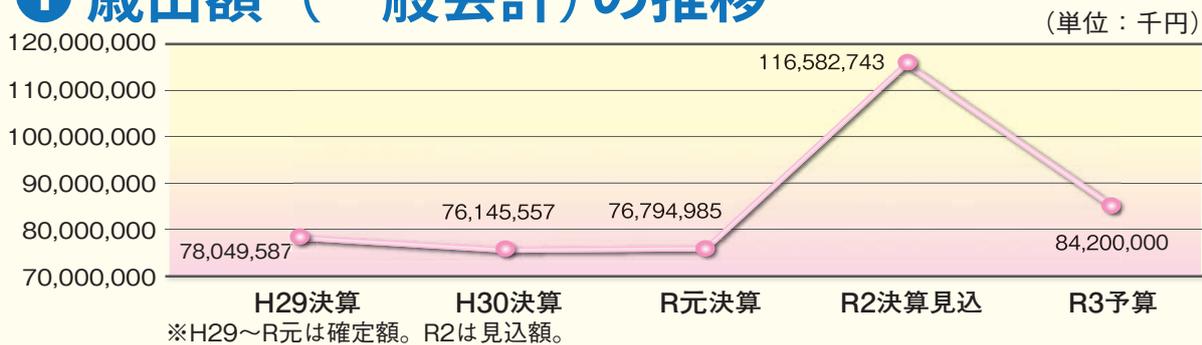


	R3	R2	比較 (千円)
人件費	14,783,697	14,926,645	▲ 142,948
扶助費	22,265,540	21,973,550	291,990
公債費	7,958,418	7,950,963	7,455
物件費	13,229,877	13,798,916	▲ 569,039
補助費等	8,426,351	8,229,842	196,509
投資的経費	7,650,777	9,084,771	▲ 1,433,994
その他(※3)	9,885,340	8,695,313	1,190,027
合計	84,200,000	84,660,000	▲ 460,000

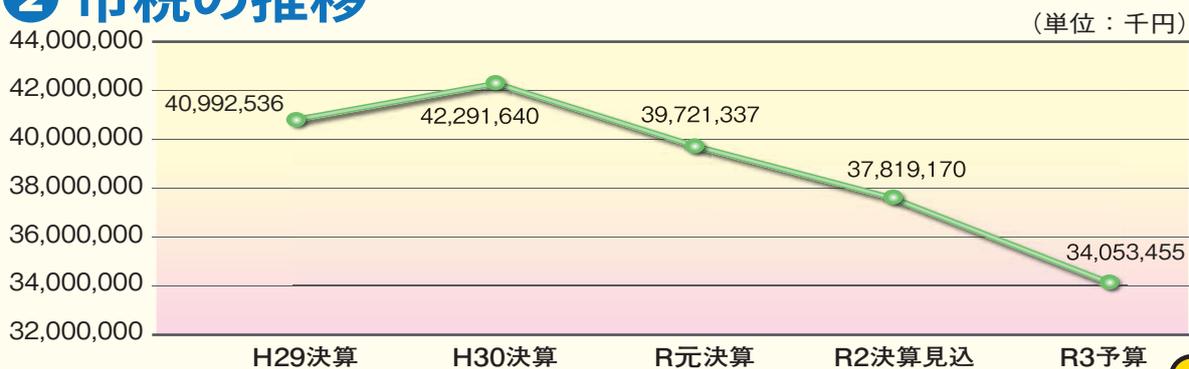
(※3) R3の内訳：繰出金6,492,518千円、貸付金2,819,108千円、維持補修費429,969千円など

# 6. 予算額等の推移

## ① 歳出額（一般会計）の推移



## ② 市税の推移



市税の変動幅が大きいのは、太田市の特徴だね。景気動向や企業業績などの影響だよ。



## ③ 地方交付税の推移



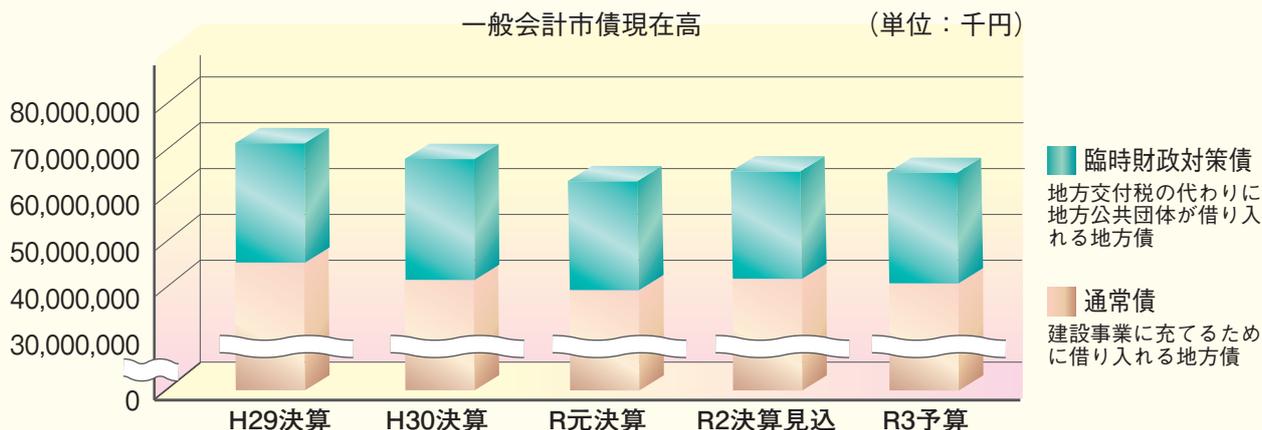
## ④ 財政調整基金現在高の推移



財政調整基金は、太田市の貯金だよ。税収が少なくなった分、45億円の貯金を取り崩して予算を確保するよ。R2決算で前年と同じように節約した分（決算剰余金）が貯金できれば、最終的には45億円くらいになるね。  
 (参考) R元決算剰余金(積立分)：18億円



## 5 市債現在高等の推移



区分	H29決算	H30決算	R元決算	R2決算見込	R3予算
一般会計					
通常債	42,026,312	39,695,317	37,581,653	39,073,688	38,578,919
臨時財政対策債	26,838,623	25,277,061	23,090,968	22,809,857	22,766,028
合計	68,864,935	64,972,378	60,672,621	61,883,545	61,344,947

H23の824億円をピークに、市債の現在高が大きく減っているよ。  
 今後も『償還元金を超えない市債の発行』を守りながら、必要な投資を行っていくよ！



公営企業会計等	H29決算	H30決算	R元決算	R2決算見込	R3予算
特別会計	176,305	167,905	160,371	153,798	137,266
下水道事業等会計	27,309,921	26,387,806	26,258,883	25,984,088	25,973,255
土地開発公社長期借入金	279,707	330,281	330,281	330,281	330,281
合計	27,765,933	26,885,992	26,749,535	26,468,167	26,440,802

※特別会計は、住宅新築資金等貸付、八王子山墓園の合計

## 6 財政健全化判断比率の推移

財政健全化判断比率とは、自治体の財政破たんを未然に防ぎ、危険な兆候がある場合には早期、かつ、計画的に健全化を図るための指標として、平成19年度決算から導入されています。太田市はいずれも「財政再生基準（赤信号）」、「早期健全化基準（黄信号）」を下回っています。

区分	H28決算	H29決算	H30決算	R元決算	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	—	—	—	—	11.33%	20.00%
②連結実質赤字比率	—	—	—	—	16.33%	30.00%
③実質公債費比率	6.4%	5.5%	5.6%	5.4%	25.0%	35.0%
④将来負担比率	50.6%	41.8%	35.2%	23.4%	350.0%	—

- ①実質赤字比率 自治体のメインの会計である一般会計等の実質収支の赤字額が標準財政規模（地方税や地方交付税等の使い道の定められていない財源の大きさのことです。）に占める割合を指しています。
- ②連結実質赤字比率 自治体の全会計（＝企業会計等を含む）の赤字・黒字を合算した結果赤字があった場合に、その額が標準財政規模に占める割合を指しています。
- ③実質公債費比率 一般会計等が負担する1年あたりの借金返済額（企業会計等＋一部事務組合等の分を含む）が標準財政規模に占める割合を指しており、実質的な借金返済負担の重さを示します。
- ④将来負担比率 一般会計等が将来負担すべき負債（＝企業会計等＋一部事務組合等＋地方公社・第三セクター等の分を含む）が標準財政規模の何倍あるかを指しています。

# 7. 令和3年度の主要事業

## ◎ 新たな取り組み

(単位：千円)



①高校生世代医療費助成事業	150,000
②第2子子育て支援事業（給食費助成拡充含む）	471,559
③G I G Aスクール関連経費（小・中・高）	52,087
④ごみ出し困難高齢者支援事業	1,926
⑤消防本部・中央消防署改修事業	170,000

## ① 教育文化の向上

(単位：千円)



①外国人児童生徒日本語指導事業	107,600
②生徒指導充実事業（おおたん教育支援隊含む）	141,771
③市立太田高校施設整備事業	84,274
④幼稚園運営費等補助金	111,854
⑤(仮称) 市民体育館建設事業	2,060,000

## ② 福祉健康の増進

(単位：千円)



①第3子以降子育て支援事業（保育料減免等含む）	254,278
②こどもプラッツ推進事業	133,623
③児童手当給付費	3,880,080
④施設型給付費負担金（幼児教育無償化に対応）	5,512,583
⑤予防接種事業	729,249
⑥市民健康診断事業（各種検診等）	571,318

※①の事業には、保育料無償化による歳入の減免分29,750千円が含まれています。

## ③ 生活環境の整備

(単位：千円)



①防犯対策事業（防犯灯維持管理事業等）	108,834
②太田市外三町広域清掃組合負担金（管理運営費・建設事業費）	1,236,146
③ごみ収集業務委託事業	577,714
④空家等対策事業（空家等除却補助金）	50,876
⑤狭あい道路整備事業	100,000
⑥消防車両・救急車両等整備事業	70,000

## ④ 産業経済の振興

(単位：千円)



①農業機械購入助成事業費補助金	10,000
②小規模農村整備事業	90,000
③有害鳥獣対策等経費	36,516
④勤労者融資及び金融対策事業（利子補給金含む）	2,878,463
⑤商店リフォーム支援事業	10,000
⑥空き店舗対策事業	11,260

## ⑤ 都市基盤の整備

(単位：千円)



①公共交通対策推進事業（デマンドバス運行事業委託料等）	80,187
②住宅リフォーム支援事業	100,250
③道路改良・整備事業（道路維持経費等）	1,186,998
④市街地再開発事業等補助金	813,400
⑤区画整理事業（太田駅周辺、東矢島、宝泉南部、尾島東部）	555,177
⑥市営住宅維持管理事業	759,570

## ⑥ 健全な行政運営の推進

(単位：千円)



①おおたシティプロモーション事業	8,100
②本庁舎設備等保全事業	123,100
③1%まちづくり事業	61,000
④ふるさと応援寄附金事業	53,574
⑤(仮称) 太田西複合拠点公共施設建設事業	71,000
⑥行政センター保全（改修）事業（葦川、鳥之郷、休泊）	143,500



# 8. 太田市の家計簿

## 太田市を一般家庭に例えたら

### 収入

	R3 375,611円	比較 ▲ 1,573円	R2 377,184円
<b>給料</b> (市税)	151,910円	▲ 14,582円	166,492円
<b>親からの仕送り</b> (国・県支出金、地方交付税、各種交付金 など)	136,828円	8,093円	128,735円
<b>パート収入</b> (分担金・負担金や使用料・手数料)			
<b>銀行等からの借り入れ</b> (市債)	11,373円	▲ 2,315円	13,688円
<b>預貯金の取り崩し</b> (繰入金)	31,240円	1,651円	29,589円
<b>雑収入</b> (諸収入など)	22,418円	251円	22,167円
	21,842円	5,329円	16,513円

前年度と比べると、家計の規模が1,573円減りました。「給料」は減っていますが、「親からの仕送り」が増えています。これは、新型コロナウイルスの影響により給料が減った分を親である「国」から援助してもらうためです。また、「雑収入」が増えているのは、新型コロナウイルス緊急対策のための貸付金の「保証人」になるからです。年度当初に保証人として金融機関へお金を預け、全額が年度末に返済されます。

### 支出

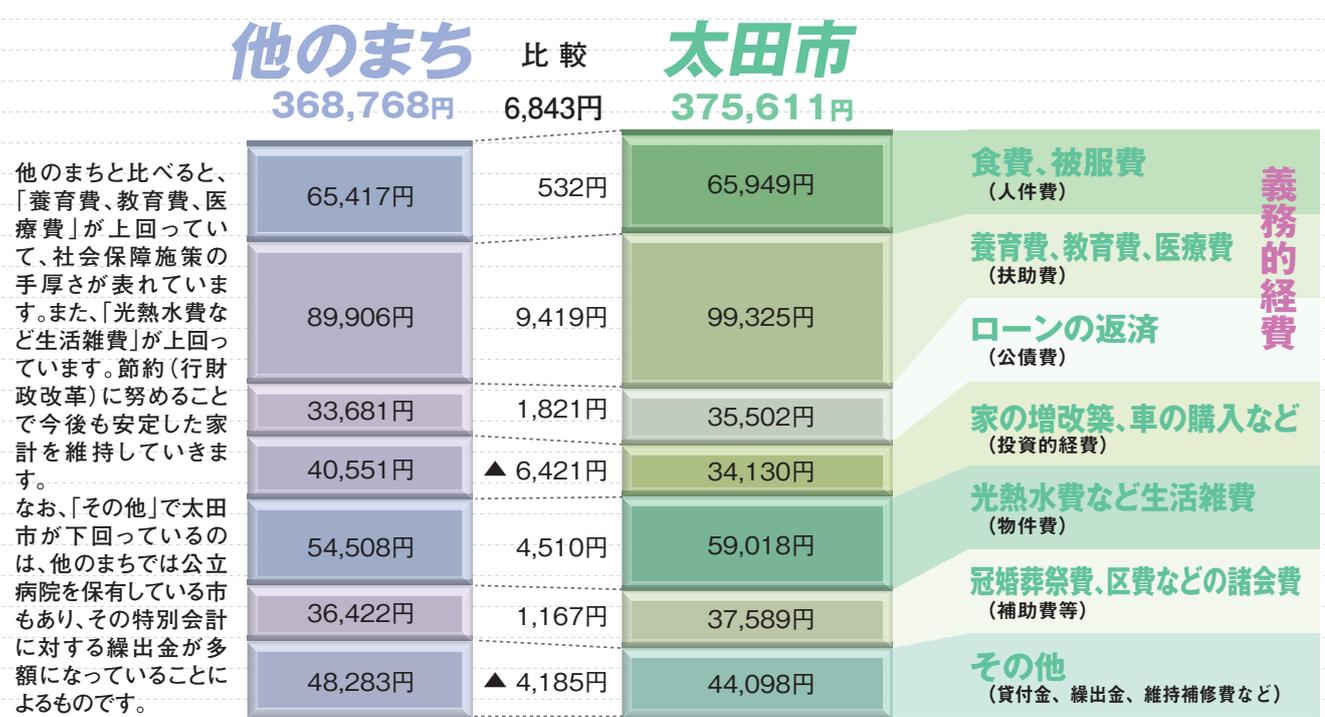
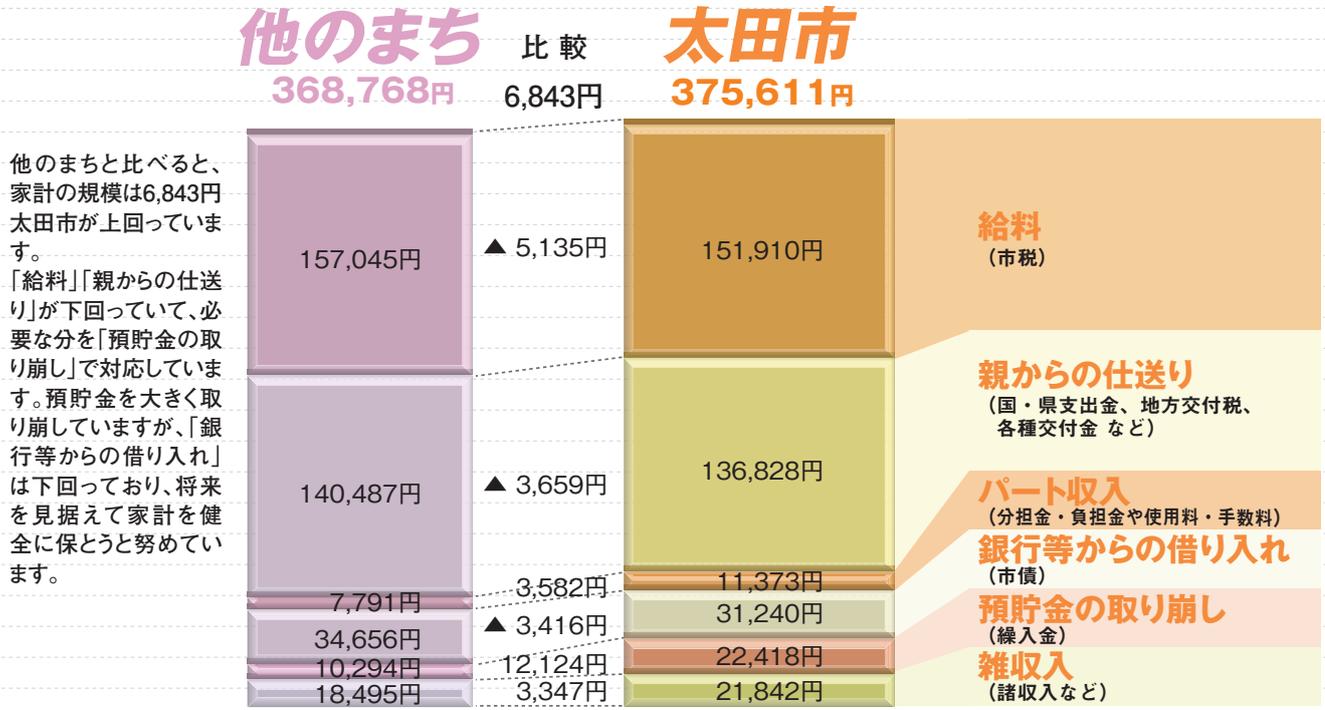
	R3 375,611円	比較 ▲ 1,573円	R2 377,184円
<b>義務的経費</b>			
<b>食費、被服費</b> (人件費)	65,949円	▲ 554円	66,503円
<b>養育費、教育費、医療費</b> (扶助費)			
<b>ローンの返済</b> (公債費)	99,325円	1,427円	97,898円
<b>家の増改築、車の購入など</b> (投資的経費)	35,502円	78円	35,424円
<b>光熱水費など生活雑費</b> (物件費)	34,130円	▲ 6,345円	40,475円
<b>冠婚葬祭費、区費などの諸会費</b> (補助費等)	59,018円	▲ 2,460円	61,478円
<b>その他</b> (貸付金、繰出金、維持補修費など)	37,589円	923円	36,666円
	44,098円	5,358円	38,740円

前年度と比べると、「養育費、教育費、医療費」が増えて、子育て、高齢者、障がい者に手厚い家計になっています。「その他」が増えているのは、収入の「雑収入」が増えていることと同じ理由です。「家の増改築、車の購入など」が減っているのは、運動公園陸上競技場や義務教育学校の建設が終わったためです。

太田市の令和3年度一般会計予算を身近に感じていただけるように、「太田市の家計簿（市民一人あたり）」に例えてお知らせします。

令和3年度当初予算額842億円を人口224,168人（R3.1月末現在）で割ると1ヶ月375,611円の家計でやりくりする家庭に例えることができます。

# 他のまちとの比較



他のまち：家族構成(人口)や職業(産業構造)が似ている全国8市(特例市)の平均値とで比較してみました。  
 ※比較に用いた8市：伊勢崎市(群馬県)・長岡市(新潟県)・沼津市(静岡県)・富士市(静岡県)・春日井市(愛知県)・一宮市(愛知県)・四日市市(三重県)・加古川市(兵庫県)

# 「元気なまち」 おおた 製造品出荷額等全国12位

(2019年工業統計調査結果より※1)



## 「住みよさランキング」2020※2 太田市は県内で連続1位です！

太田市は、県内1位 全国140位

都市名	ランキング
太田市	140位
高崎市	204位
前橋市	221位
伊勢崎市	461位

※1 順位は、「2019年工業統計調査結果（2018年実績）」をもとに集計したものです。

※2 「住みよさランキング」とは  
公的統計を基に、全国の市を対象にそれぞれの市が持つ“都市力”を、「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」の  
4つの観点に分類し、総合評価としてランキング化したものです。  
(東洋経済新報社「都市データパック 2020年版」より)